

# “夏の足工” 伝統校のプライドを胸に

ASHIKAGA TECHNICAL High School Baseball Club News

MAY 2016 Vol. 2

春季市内大会では本当にたくさんのご声援を頂き、ありがとうございました。選手にとっては心強かったことと思います。

しかし、結果は白鷗大足利に5対7の敗戦。秋季県大会の優勝校に対して選手は真っ正面から堂々と戦い、勝つチャンスがあった試合だけに悔しく思っています。1つ1つのことをしっかりやらないと、あと一步の壁は越えられないことを感じました。ただ、本当の勝負は夏です。持てる力を発揮できれば、どこが相手でも勝負できる手応えも掴めました。この敗戦をしっかりと受け止め、足らなかった部分を克服できるよう、夏に向けて部員一同、日々の練習に取り組みたいと思います。

そして、5月6日(金)～8(日)の2泊3日で第1回強化合宿を無事、実施することができました。保護者の皆様には、ご理解、ご協力を頂き、感謝申し上げます。日頃は合理的な練習を意識していますが、勝負では最後は理屈でない部分が出てくるのも事実です。栃木県加盟64校の中で“普通”にやっていると勝ち上がることはできません。最後まで勝ち残るチームは、普通ではないところがあるからこそ1番になっているはず。そういった意味で今回の合宿は“普通ではない練習をやる”、“理不尽な練習にも耐え抜こう”をテーマに深夜2時過ぎまでの練習を敢行しました。部員1人1人が自分に負けることなく、最後まで良い雰囲気練習できたことから達成感を持って終われたと思います。この合宿を乗り越えたことで“理屈ではない何か”、“裏付けのある自信”を部員が得てくれたことを期待しています。

また、6月は最後の追い込みの時期であり、3年生にとっては“最後の夏”まで1ヶ月になります。ケガにはくれぐれも気をつけ、あとで後悔しないだけの準備をして欲しいと思います。この夏の栃木大会は例年以上の“混戦”と言われ、何が起きても不思議でない状況にあります。もう一度基本に戻り、取れるアウトをしっかり取ること。そして勢いに乗れば、足利工業にもチャンスがあるはず。引き続き、選手の懸命なプレーに温かいご声援、ご協力をお願いします。

